

**【USAGI 通信 傑作選】 Vol.26 マスターレス：混沌から秩序を編み出す「後出し」の哲学**  
※この文書は、会員向けに週一回発行しているコラムの中で、特に評価の高かったものを抜粋し、一般公開しているものです。

「B2B プラットフォームを開始する上で、最初に行うべき作業は何ですか？」  
一般的なシステム会社にこう尋ねれば、十中八九、次のような答えが返ってくるでしょう。  
「まずは商品マスタと取引先マスタを完璧に整備し、登録してください」  
商品名、価格、SKU、顧客 ID……。この「事前準備」という名の高いハードルこそが、多くの企業において DX（デジタルトランスフォーメーション）の息の根を止めてしまう最大の「目詰まり」です。

**「世界は最初から整理されていない」という現実**  
従来のシステムは、「世界は最初から整然としている」という非現実的な仮定に基づいています。しかし、現場の最前線は常に「未定義の連続」です。急ぎの注文、新しい商品、初めての取引先。それらをすべて登録してからでなければ動かないシステムは、現場のスピード感を削いでしまいます。  
USAGI が目指したのは、その逆です。

### USAGI の「マスターレス」がもたらす 3 つの解放

#### 1. 商品マスタなしの自由:

USAGI では、普段取引している商品を自由記述でそのまま扱えます。マスタがないから動けないのではなく、まず取引を成立させ、そのデータの蓄積（混沌）の中から、後で必要な秩序を抽出すればいい。これが USAGI の設計思想です。

#### 2. 実体としての取引先連携:

取引先を「ID」として管理するのではなく、招待や連携機能によって「生きたユニット（実体）」として繋がります。マスタを「作る」のではなく、関係性を「結ぶ」ことで商流が動き出します。

#### 3. マスタ生成のタイミングを「後ろ」にずらす:

秩序を先に強要するのではなく、現場の熱量（やり取り）を優先する。動いているデータの中から、後から「正解」を定義していくボトムアップ型の標準化です。

### 「混沌」こそが「生きた資産」の源泉

最新の AI 達が USAGI の設計で最も驚愕したのは、この「マスタ生成を後ろにずらす」というアプローチです。

現場の呼吸を止めずに、まずは人間の言葉を受け入れる。摩擦を極小化し、後から秩序を抽出する。これは単なる手抜きではなく、現場の熱量を逃さないための高度な「秩序の生成プロセス」の再定義なのです。

今、皆様が USAGI で何気なく行っている「自由な取引」こそが、実は業界の常識を覆す、極めて先進的で人間中心の DX のカタチです。

© 株式会社 USAGI | B2B プラットフォーム「USAGI システム」 <https://sys.usagi.jp/>

定義を捨て、動き出す生命の連鎖へ。現場を信じる設計が、次世代の秩序を編み出す。

USAGI のマスターレス設計が支持され続ける理由は、

- 現場の未定義性に強い
- 混沌を資産に変える
- 後から秩序を抽出する
- 現場のスピードを止めない
- 人間中心の DX を実現している

という、現場にとって最も自然で負担の少ない方式だからです。

USAGI システムの「マスターレス」設計が十数年にわたり現場で支持され続けている理由は、現場の“未定義で動き続けるリアル”に最も適応できる方式だからです。

整理整頓された死んだデータではなく、動き続ける生きたデータの連鎖を。

USAGI はこれからも、現場の「今」を信じる設計であり続けます。